平成20年度粒子・流体プロセス部会事務局収支計算書

(平成20年3月1日より平成21年2月28日まで)

(単位:円・税込)

支出の部		収入の部	
科目	決算額	科目	決算額
事業費			722700
講演会費	121008	化学工学会交付金収入(注3)	685000
部会表彰	121008	化学工学会事務負担金返却	37700
講習会支出	0		
シンポジゥム支出	100000	会費収入(注4)	984000
国際会議共催支出	100000	個人会員4A	16000
		個人会員4B	18000
セミナー支出	603236	法人会員	950000
部会セミナー 支出	603236		
WG交付金支出	0		
管理費		事業収入	486000
事務費	175338	講演会収入	0
会議費	14000		
通信費	22730		
交通費	0	講習会収入	0
出張旅費	111400		
消耗品費	17138	10 x 20 x 4 == =	
振込手数料	9570	シンポジゥム収入	0
雑費	500) . > 1 dex =	400000
1.74. 建	101000	セミナー収入	486000
人件費	121000	部会セミナー収入	486000
<u>事務員</u> アルバイト	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	補助金収入	0
) /// / ト	121000	冊奶並収八	0
部会事務負担金	37700		
本部事務負担金支出	37700		
本部事初與四亚人田	01100	雑収入	1882
分科会分配金(注1)	1198000	利息収入	1882
熱物質流体工学(注 2)	127791	行が出代人人	1002
ミキシング技術	547090		
気泡塔	92408		
流動層	153095		
粉体プロセス	277616		
当期支出合計④	2356282	当期収入合計①	2194582
当期収支差額⑤=①-④	-161700	前期繰越収支差額②	958525
次期繰越収支差額⑥=③-④	796825	収入合計③=①+②	3153107

注1)事務局への分配は、本部分配金および会費収入の合計の1/4であり、20年度は396,000円となったが、 注2に述べる理由より、実際の分配額は386,000円であった。

注2) 熱物質流体工学分科会への分配金は、平成20年9月23日に開催された熱物質流体工学セミナー2008 (熱物質流体工学分科会・粒子流体プロセス部会合同企画)における、部会選出の講師1名への謝金10,000 円を含む。その分だけ、事務局への分配金を減額した。

注3) 平成20年度の本部交付金は平成19年度に振り込まれていたが、ここに計上する。したがって、前期繰越収支差額はこの額だけ減額して記載した(②の金額)。

注4)会費収入は、平成20年9月の幹事会中間報告以降平成21年2月末日までに振り込まれた特別会員の会費85,000円を含む。この85,000円は平成20年度の配分対象となってないので、平成21年度に該当分科会および事務局に分配する。